

第1講

5月28日(水)

午後6時30分～

●会場 大阪民医連およびZoom

再エネ普及の最新動向 からの未来社会展望

～気候危機防止のエネ転換が
創り出す持続可能社会～

講師 和田 武 さん

自然エネルギー市民の会代表
元日本環境学会会長

●講演要旨 2024年の気温が産業革命期から1.5℃超上昇、地球システムの転換危機が迫り、社会を負の転換に陥れるリスクがあるが、世界では陸上風力/太陽光発電のコストが最安価になり、再エネの年間導入量が急増、2030年までに3倍増の可能性もある。トランプ政策や第7次エネ計画は、再エネを抑制し既得権益を維持しようとする動きだが、市民地域主導の再エネ普及がもたらすエネ生産手段の民主的社会的な転換を通じて、新たな生産関係が生まれ、持続可能社会へ移行する。

第3講

9月24日(水)

午後6時30分～

●会場 大阪民医連およびZoom

持続可能な地域経済づくりと再エネの推進

～活用できる国や地方自治体の補助制度など～

講師 藤田 太裕 さん

株式会社地域計画建築研究所(アルパック)
サステナビリティマネージメントグループ 研究員

●講演要旨 持続可能な地域経済づくりと再エネの推進について、地域資源の活用の観点から、その中で再生可能エネルギーの導入などによる経済的なメリットを踏まえつつ、環境保護や、地域循環共生圏の形成などの考え方をお話します。また、再生可能エネルギー導入促進補助制度とともに、特に身近な戸建て向け太陽光発電関連市場について、創蓄システムの動向と、産業構造の解説、戸建てへの太陽光発電・蓄電池導入の検討にあたって留意点の解説、よくあるトラブルを紹介いたします。

第8期

自然

エネルギー

1

連続

講座

座

座

座

座

座

座

座

第2講

7月30日(水)

午後6時30分～

●会場 大阪民医連およびZoom

第7次エネルギー基本 計画で示された原発回 帰政策の問題点と次世 代革新炉について

講師 岩井 孝 さん

元日本原子力研究開発機構研究員
日本科学者会議原子力問題研究委員会委員

●講演要旨 2月に閣議決定された第7次エネルギー基本計画では、従来の「可能な限り原発依存度を低減する」から「原発を最大限活用する」と原発回帰への大転換を決定した。次世代革新炉と称する原発の建設も盛り込まれている。使用済燃料を再処理して取り出したプルトニウムを再利用する核燃料サイクルに固執している。今回決定された原発回帰政策は、原発の危険を増大させ、将来への負の遺産を増やすことを批判する。また、使用済燃料の貯蔵や次世代革新炉について解説する。

第4講

11月26日(水)

午後6時30分～

●会場 大阪民医連およびZoom

自家消費型太陽光発電 の仕組みとメリット

～電気代の削減はどれくらい可能か～

講師 林 敏秋 さん

認定NPO法人きょうとグリーンファンド

●講演要旨 FITがはじまって太陽光発電の設置価格は急速に低下しました。それとともに買取価格も低下し、電気を売る時代から発電して使う時代になりました。電気代の高騰とともに、太陽光発電の自家消費に注目が集まっています。どのようなシステムでどのようなメリットがあるのか。再エネ100%社会を実現するにはまだまだ導入することが必要です。自家消費型太陽光発電はその切り札となるのか。共に学び考えます

●視察・見学会●

兵庫県および宝塚市、宝塚すみれ発電 および西谷ソーラーシェアリング

実施月日 10月23日(木)

午前8:30～午後5:00

●視察・見学先

午前中、宝塚市役所で兵庫県および宝塚市の担当者から「地域循環型共生圏事業」と、それに基づく宝塚市での環境・再エネ推進事業の実際を学びます。また午後は、宝塚市の西谷地域でのソーラーシェアリングの取り組みと宝塚すみれ発電の歴史や事業などについて学びます。

●募集定員 40名

●交通手段

大阪民医連(大阪市中央区)を出発・解散地点にして、大型貸し切りバスで移動します。

●太陽光発電交流集会●

9月13日(土) 大阪民医連

シンポジウムと展示会・ワークショップ

●午前 10:00～12:00

シンポジウム「太陽光発電を大きく推進するために」

①FITの動向と太陽光発電事業の展望

豊田陽介さん(気候ネットワーク)

②自家消費型太陽光発電の推進

林 敏秋さん(京都グリーンファンド)

③ゼロ円システムによる太陽光発電所の普及

菅沼利和さん(飯田おひさま進歩エネルギー株式会社)

●午後 13:30～16:00

①展示会「わが家・わが事業所・わが地域での太陽光発電」

家庭や事業所、あるいは地域で取り組んでいる様々な太陽光発電を、実物や模型、パネルなどで展示し、設置者から運用の実際についてお話を聞きます。

②ワークショップ「ミニソーラー発電システムづくり」

昨年同様に、その場でミニソーラーシステムを組み立て、完成品を持ち帰っていただきます。部材は注文を受けて事務局で用意します。システムはバージョンアップして Ver2.0 です。

○申込締め切りと定員 部材調達のために締め切りは7月31日とし、定員は10名とします。